

## 新潟県支部長 あいさつ

新潟地域振興局健康福祉部地域保健課 帆 莉 久 美

全国保健師長会新潟県支部活動については日頃から御協力をいただき感謝申し上げます。

令和7年6月の総会において新役員体制を承認いただき、支部長を務めさせていただいております帆莉と申します。

当支部活動につきましては、日頃から、御支援、御協力をいただき感謝しております。

さて、地域社会を取り巻く環境が大きく変化し、地域の健康課題が多様化・複雑化する中、令和7年度に国では「2040年を見据えた保健師活動のあり方に関する検討会」において、保健師の未来像について議論されました。10年以上の前のことです、今は退職された私が尊敬する方が、職能団体の役員として活躍されるようになりました。それまではどちらかというと、その様な役を担うことは多くない印象でしたので、その理由を伺ったことがありました。すると、「退職まであと10年、それまでにできることって何かなって思ってさ。」と、さらっと話してくださったのです。私も「そのうち、そんな心境になるのか?」と、思っていました。日々の業務に追われ、そのような気持ちの変化を認識することはありませんでした。しかし、退職まで5年を切った今、その方の気持ちの一部ですが、少し理解できるようになった気がしています。地域の横のつながりが希薄になっている…と、同じことなのか、保健師の横のつながりである様々な職能団体への加入率は年々減少しています。しかし、能登半島地震の際、迅速に行われた緊急調査、前述の検討に係る調査など、全国保健師長会をはじめとした各職能団体の対応から、それら団体の果たす役割の大きさを再認識させられ、「退職までできることは何かな?」の言葉を思い出し、この任をお引き受けしたところです。

引き続き、当支部の活動が保健師にとって有用なものとなるよう、支部長として役員のみなさんとともに、尽力したいと考えておりますが、個々の力は微力であり、みなさまの経験と力をお借りする必要があります。今後も少しでも多くの方から保健師長会に御加入いただき、保健師として大切なことを次世代に確実に「継承」するため御支援、御協力をお願いいたします。

## 令和7年度 全国保健師長会 新潟県支部 研修会

◆日程:令和7年6月7日(土) 14時~16時 ◆会場:新潟県女性センター(新潟市)

◆参加者:62人(対面参加21人/Zoom参加41人)うち非会員15人

情報提供 「受援活動について ~能登半島地震でのDHEATの経験から~」

南魚沼地域振興局健康福祉環境部 副部長 佐藤 真理子 氏

講 義 「災害発生時の保健活動 ~受援体制の整備~」

国立保健医療科学院 公衆衛生看護研究分野

健康危機管理研究部併任統括研究官 奥田 博子 氏

🌸 ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

## ◆事後アンケートにおける参加者の反応（抜粋）

<p>「大変満足」76.9% 「満足」23.1%</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・最近の災害保健に関する動向、活動で必要な知識、心構えを学べた。</li><li>・災害に関連した内容でも、過去に研修等を受けたことがない分野だった。</li><li>・災害時保健活動の目的、災害時保健活動マニュアルを作成のヒントが多かった。</li></ul>	<p>「今後の業務に大変役立つ」53.8% 「役立つ」46.2%</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・先進事例を示していただいた。</li><li>・受援体制についての資料やヒントが多くあった。</li><li>・当市のマニュアルや今後の動きの見直しの参考となった。</li><li>・受援自治体の保健師の役割が明確になった。</li></ul>
<p>&lt;今後の研修テーマの希望&gt; 「人材育成」46.2% 「地域保健活動」42.3% 「統括保健師の役割」11.5%</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保健師の活動の成果を根拠を持って示すヒント、ICT 化の先進事例研修会でエンパワーメントし、保健師を続けたい内容。</li><li>・自治体保健師のキャリアラダーの活用方法、人材育成に関する効果的な取り組み。</li><li>・少子高齢化、人口減少が進展する中で、地域共生社会をどのように作っていくか。</li></ul>	

🌸 いただいたご意見は、今後の取り組みに活かしていきたいと思えます。

## 令和7年度 全国保健師長会 新潟県支部 総会

令和7年度は事前の書面決議により議案を採決しました。

会員数77人の全員から書面により前年度決算及び当年度予算、事業計画、役員に係る了承をいただき、全ての議案が可決されました。

## 令和7年 全国保健師長会 新潟県支部 情報交換会

- ◆日程: 令和7年11月7日(金)13時30分~16時30分
- ◆会場: 新潟自治会館 別館 ゆきつばき(9階)
- ◆参加者: 52人(会員:43人、非会員:9人)



### 【内 容】

情報提供: 「令和7年度保健師中央会議について」

新潟県福祉保健部福祉保健総務課 参事(統括保健師) 平岡弘子 氏

「新任管理者能力育成研修について」

新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課 副参事 大戸奈穂子 氏

講 義: 「新任管理者育成の必要性及び統括保健師が果たす役割」

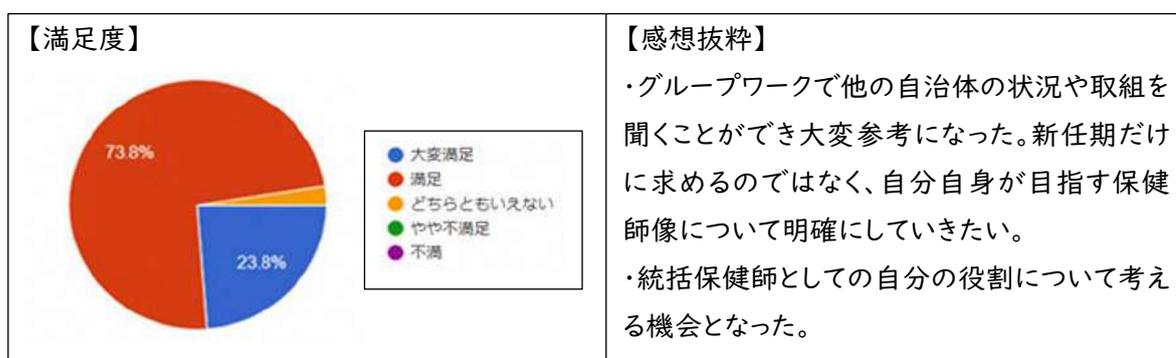
講師 新潟青陵大学看護学部 学部長(教授) 坪川トモ子 氏

情報交換(グループワーク)

今回の企画は、県主催の「保健師リーダー研修」との共同開催とし、会員以外の方にも広くご参加いただきました。

情報提供および坪川先生の講義では、全国的な保健師就業の動向や確保の工夫、新潟県の人材育成の状況を知るとともに、「心理的安全性の高い」職場環境や人材育成の在り方を学びました。グループワークでは、同世代が集う貴重な研修機会となり、終了後もミニ同級会になっていた場面もありました。職場環境や人材育成について今一度考えるきっかけになっただけでなく、同じ悩みを抱える仲間同士で語り合えたことで、満足度の高い情報交換会につながったと思います。

【アンケート結果】 回答数:42人(回答率 89.4%)



❀ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。いただいたご意見・ご感想を励みに、今後も研修と情報交換の場を提供していきます。



## 令和7年度 北関東・甲信越ブロック研修会

テーマ「未来に紡ぐ統括力と公衆衛生看護活動の実践」

-2040年を見据えた地域に根づくマネジメントと保健師人材育成-

- ◆日程:令和7年10月25日(土)
- ◆会場:イーアスホール(茨城県つくば市)
- ◆参加者:79人

\*実践報告後のグループワークでは…

「保健師としての“自分らしさ”を言語化しよう」と題し、保健師として大切にしてきたこと・後輩に伝えたいことを語り合い、自身の保健師観を振り返る貴重な機会となりました。

### ◆内容

- ・全国保健師長会活動内容及び研究報告
- ・講演「つなぐ力を育てる  
—中堅保健師への伴奏と実践的支援—  
武蔵野大学 看護学部教授 中板郁美 氏
- ・保健師活動実践報告
- ・持続可能な元気な体!~12歳からのSDGs~  
:新潟市秋葉区役所 他2題

## 第46回 全国保健師長会代議員総会

◆日程:令和7年11月15日(土)

◆会場:徳島県グランヴィリオホテル (ハイブリット形式で開催)

支部長はじめ4名の役員が代議員としてオンライン参加しました。令和6年度活動報告、決算報告、令和7年度事業経過、予算案及び令和8年度事業計画(案)が承認されました。

<主な承認事項>

- 代議員総会における議決及び役員選挙を電子投票により行うこと常例とする。
- 部会・委員会について
  - ・ 従来の災害時保健活動特別委員会を「健康危機管理特別委員会」に変更
  - ・ 令和10年度に発足50周年を迎えるため、「50周年記念事業特別委員会」を設置
  - ・ 関連団体からの協議会、調査研修等へ参画依頼が増加していることから常任理事(健康危機管理担当)を指名することとする。

## 役員紹介

支部長: 帆苅久美(新津保健所)  
横のつながりが強くなりますように!

副支部長: 山岸千奈美(糸魚川市)  
保健師魂の火を灯し続けましょう 🔥

書記: 白井亜紀(三条保健所)  
支部活動のご縁に日々助けられています😊

会計: 赤塚晴美(新津保健所)  
学びながら役割を果たしていきます😊

監事: 鈴木裕子(魚沼市)  
色々情報交換できたらうれしいです😊

監事: 荒川尚美(柏崎市)  
よく学び、よくつながりたいです♥

## 今後の予定

**新規会員の募集、総会・研修会の開催は4月上旬頃お知らせします!**

令和8年度 新潟県支部総会・研修会 令和8年6月6日(土) 予定

令和8年度 新潟県支部総会・情報交換会 令和8年秋頃 予定

全国保健師長会ホームページはこちらから



☆全国保健師長会の  
シンボルマーク  
保健師が、  
保健(Health)  
医療(Medicine)  
福祉(Welfare)の分野で  
全国を駆けめぐって活動し  
ているイメージを表現